

すてきな景観を募集します

わたしたちの住む中野市は、市民が誇りとしている雄大な山々や清らかな河川などの豊かな自然環境と、多くの歴史的、文化的遺産に恵まれ、美しい景観を形づくってきました。景観は、人と自然が生み出す文化です。市では私たち一人ひとりが景観への理解を深め、美しい景観を守り、育て、創る環境づくりの推進を目的に、中野市景観賞を隔年で実施しています。皆さんの周りで花づくりを

実施し、良好な維持管理を行っている団体や個人を推薦してください。また、大切に守り、伝えたい景観写真をお持ちの方からのご応募もお待ちしています。

主な審査基準

- ・市民の誇りとなるもの
- ・個性的でデザインに優れているもの
- ・歴史や伝統ある風土を生かしているもの
- ・水や緑など自然が息づいて

応募（推薦）対象部門

| 部門 | 内容 | 表彰件数 |
|----------|---|------|
| 花づくり緑化部門 | 沿道で生垣、花づくりなどを実施し、良好に維持管理している団体または個人 ※開花期に撮影した写真での判定となります。 | 2件以内 |
| 景観写真部門 | おおむね過去2年以内に、北信五岳、高社山、千曲川などの恵まれた眺望や未来に残したい町並などを撮影した自作の未発表写真（サイズ：キャビネ版、デジタルカメラ可・合成などの加工は不可） | 2件以内 |

いるもの
潤いとやすらぎを与えてくれるもの

応募方法

- ・市役所または豊田支所などに応募用紙が置いてありますので必要事項を記入し、都市計画課までお送りください。（市公式ホームページからも様式をダウンロードすることが出来ます）
- ・自薦、他薦は問いませんが、必ず応募対象となる所有者の承諾を得た上で、応募してください。
- ・1人何件でも応募できます。応募対象1件ごとに応募用紙1枚を使用してください。応募用紙はコピーしたもので構いません。
- ・過去に中野市景観賞を受賞している作品と重複する場合は、審査の対象外とします。

募集期間 5月10日(月)～9月10日(金)

その他

- ・受賞者には賞状および記念品を贈呈します。
- ・花づくり緑化部門受賞作品の他薦者にも記念品を贈呈します。

問い合わせ・応募先
市役所都市計画課建築住宅係
☎(22)2111（内線273）

北信広域連合職員採用試験

○中級選考試験（看護師） 平成22年7月採用予定

| 職種 | 予定人員 | 職務内容 | 受験資格 | 年齢要件 | 試験内容 | 試験期日 | 試験会場 |
|-----|------|------|----------------------|--------------------------------------|--------------|--------------|-------------|
| 看護師 | 若干名 | 看護業務 | 日本国籍を有し、看護師の資格を有する者。 | 昭和35年4月2日以降に生まれた者で、短期大学卒業程度の学力を有する者。 | 論文試験 口述試験 | 6月下旬 (予定) | 市役所 (予定) |

- ・受験案内および試験申込書は、北信広域連合事務局（中野市豊田支所内）、各組織市町村の役所・役場の窓口、各老人ホームにあります。また、北信広域連合のホームページでもご覧いただけます。
- ・試験申込書の受付期間は、6月10日(木)までです。受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までで、土曜日、日曜日、祝日は受け付けしません。なお、郵送は、6月10日(木)の消印まで有効です。
- ・申し込み方法は、試験申込書に必要事項を記入の上、北信広域連合事務局まで持参するか、または簡易書留など確実な方法で郵送してください。
- ・勤務予定施設など詳細については、受験案内をご覧ください。

ホームページ <http://www.hokusin.or.jp/>

問い合わせ先 北信広域連合事務局総務係（豊田支所内） ☎（38）5050

教育委員会だより

No.38 編集／中野市教育委員会

教育を拓く知恵

「読書」は人間と未来をつくる

今年「国民読書年」です。読書は、言葉を学び、表現力を高め、感性を磨き、創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力身につけていく上で、欠くことのできないものといわれています。

今月号では、「読書」について取り上げてみました。

言葉との出会い

言葉との出会いは、赤ちゃんのときからで、「語りかけ」や「子守唄・童謡」「絵本の読み聞かせ」などを通して言葉を感じていきます。

本との出会いは、読み聞かせの絵本です。

市では、7カ月検診のときに図書館職員からブックスタートを説明し、絵本2冊をプレゼントします。

絵本は文字を教えるものではなく、赤ちゃんにとっては「見るもの・聞くもの」です。また、子どもは知っているお話が大好きです。根気よく繰り返し読んであげること

が大切です。

3歳ごろになると多くの言葉を吸収し、思いがけない言葉を発し周囲を驚かせます。このころからコミュニケーションをはかる能力が飛躍的に発達する時期になります。

聞くという読書（絵本）

幼稚園・保育所は、子どもが初めて家族以外の集団と過ごす場です。生活習慣を身につけるとともに、「読み聞かせ」や「おはなし会」を通して絵本などの楽しさを学び、言葉の世界をさらに広げ、豊かな想像力を育んでいきます。読み聞かせのポイントは

- ① ゆっくり読む（子どもは「絵」を読んでいます）
 - ② 子どもが知らない言葉が出てきても読み進める（前後のつながりで理解します）
 - ③ 感想を無理に聞かない（感想は子どもにとっては難しい課題、読書嫌いにしない）
 - ④ 字が読めるようになってからも読み聞かせを続ける（子どもが楽しく読書ができるまで）
- 4つのポイントを心に留めながら、親子の楽しいいふれあいの時間にしたいです。

学校での読書活動

小・中学校の学校図書館には、学校図書事務員のほかに読書指導員を配置し、読み聞かせ、調べ学習などの読書指導に当たっています。

市内の小中学校では全校の児童生徒と先生が、ほぼ毎日10分から15分間を読書の時間に当て、自分の好きな本を読んでいます。わずかな時間ですが、子どもたちは読書に集中し、読書に親しむ習慣を身につける時間になっています。

ちなみに、昨年度の全国学力・生活状況調査では、「読書が好きだ」と答えた児童生徒は、小学生80%（全国比プラス8%）、中学生66%（同

比マイナス2%）でした。また学校図書館は、情報の宝庫であり、書架の間を自ら歩き、そこで新しい発見をし、自分の問題を深めていくことができます。つまり、課題解決力や学び続ける意欲を育む場ともなっています。

読書に親しむ環境づくり

「国民読書年」を迎え、市立図書館ではボランティアの皆さんの協力を得て「おはなし会」「よみきかせ会」「朗読会」「小学生図書館員体験」などを計画し、幼稚園・保育

所・学校、家庭や地域と連携して、読書活動を推進していくことにしています。

家庭や事業所でも読書コーナーを設けるなど、読書に親しめる環境を整えていただければと思います。

今日の社会は情報が溢れ、ややもするとその情報に振り回されて自分を見失いやすい時代です。情報が多ければ多いほど、読書の必要性が増えています。

「国民読書年」に当たり、忙しさや慌しさを一時忘れ、家族で本の世界に浸っていただければと願っています。

今、学校では

『おはなし列車』の活動について

豊井小学校では、保護者による読み聞かせの会があり、それを“おはなし列車”と呼んでいます。平成21年度に発足し、1週間から2週間に1回、各教室に1人が出向き、午後の授業が始まる前の10分間読み聞かせを行っています。

昨年度は、お父さんも含めた20人程のメンバーで活動しました。読書旬間には、父親母親委員会と合同で行ったり、年度末には趣向を変えて、大型絵本や紙芝居も取り入れたりしています。

子ども達は、お父さんやお母さんによる読み聞かせなので、親しみを持って迎え入れてくれます。食い入るようなきらきらした瞳に会えるこの時間は、メンバー達にとっても大好きなひとときです。

これからも子ども達と一緒に楽しんで活動していきたいと思っています。

